

8/4

間伐に挑戦！ 山林で森林教育

にちなん十色石見分園の園児たちが山林の中で間伐体験を行いました。園児たちは最初にチェーンソーで伐採する様子を見学した後、林業アカデミー教諭の指導により、交代しながらのこぎりで木を切っていました。自分たちが協力しながら切った木が地面に倒れると、園児たちは喜んでいました。



指導にあたった林業アカデミーの高木康平さんは、「小さい子どもたちに間伐の大切さを教えることは難しいが、みんなで力を合わせて伐採してもらい、協力することの大切さや切り倒す達成感を体験してもらえれば」と話していました。

8/12

トップアスリートに教わる！ 陸上教室

日南小児童を対象とした陸上クラブ・にちなんアスレチッククラブ（池岡弘紀代表）が主催する陸上教室が、町総合グラウンドを会場に開催されました。



この陸上教室では、アトランタオリンピック・シドニーオリンピックの日本代表で短距離走選手の田端健児さん、アテネオリンピック・北京オリンピック日本代表、2009年ベルリン世界陸上競技選手権大会銅メダリストでやり投選手の村上幸史さんが指導にあたりました。

子どもたちは最初にウォームアップを行ったあと、走るための基本的なトレーニングを田端さんから教わり、後半は短距離走と投てきに分かれて指導を受けました。指導の中で田端さんは、「考えて練習しよう」と子どもたちに話し、頭で考えて自分の体を動かすことの大切さを語りかけていました。村上さんは神戸上



のふるさと日南邑で高校生から社会人を対象とした合宿も行っており、「日南町の子どもたちと一緒にやれるイベントを今後もやっていきたい」とインタビューの中で話していました。

8/5

コロナに負けるな！第2弾「野菜を食べようプロジェクト」

ショッピングスクエアパセオにて、第2弾「野菜を食べようプロジェクト」として、日南町食育推進協議会（七瀬寿恵会長）のみなさんが、果物や野菜ジュース、『栄養ワンダーブック』（日本栄養士会が発行した栄養に関する情報誌）などを配布し、野菜摂取についてPRしました。

令和元年に行った「成人の生活習慣調査」では、毎日野菜を食べている日南町民は43%しかいないという結果が出ています。そこで、「日南町の新鮮でおいしい野菜を食べて元気に過ごしてほしい」という思いで「野菜を食べようプロジェクト」は企画されました。毎日元気に過ごすために、国は、1日に350グラム以上（料理にして5皿以上）の野菜を食べることを目標にしています。鳥取県民の平均は280グラムで、目標には70グラム不足しています。70グラムは、野菜料理1皿分です。まずは、今より1皿多く野菜を食べてみましょう。



8/26

戦後77年 不戦の誓い

日南町戦没者追悼式が総合文化センターさつきホールで行われ、遺族や参列者、関係者など約80人が参列しました。戦後77年が経過し、戦争を経験した世代は高齢となり、若い世代へ語り継ぐことが困難になってきました。

今回の戦没者追悼式では、大人も子どもも共に戦争・平和について学ぶ機会にしようと、日南小6年生の児童による献花や、町内の読み聞かせグループ「おはなしのまど」（中村秀代代表）による絵本の読み聞かせも行われました。



日南町遺族連合会会長の栗田英機さん（折渡）は遺族謝辞の中で、「『平和』『戦争』といった言葉が聞かれない世の中になっているが、戦争の悲惨さを後世に伝えていくためにも今後も追悼式を継続していきたい」と話していました。

また、追悼式の後には日野郡遺族会連合会の表彰式が行われ、増田清子さん（丸山）と手嶋昭好さん（下石見）が功労者表彰を受けました。

